学校番号	T3017

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活、社会生活で必要な知識や技能を身につけましょう。また、暮らしと社会の課題を結び付け考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指します。
・教室移動があり、学習内容によって教室が異なります。事前の連絡に注意し、遅刻しないように集合してください。調理実習の遅刻は全員に迷惑がかかりますので特に注意してください。
・提出物の期日は確実に守ってください。
※ 食物アレルギーのある人は、必ず申し出てください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を見通す・人生をつくる	○生涯を見通す ・未来予想図を描く ○人生をつくる ・これからの家庭生活と社会	a:生涯を見通して、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理について理解しているとともに、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 b:図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読み取ることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 c:自分のことや生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント
	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもと関わる ○これからの保育環境 ・現代の子育て環境	a:生命の尊さ、子育ての意義について理解しており、子どもの生活や取り巻く環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c:子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解している。生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント 保育体験

	超高齢者を共に生きる	○超高齢・大衆長寿社会の到来 ・少子化・高齢化の進行 ○高齢期の心身の特徴 ○これからの超高齢化社会	a:高齢者を取り巻く社会環境、心身の特徴、生活支援に関する基礎的な技能について理解している。 b:高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身につけている。 c:高齢期の生活と福祉について、自分の生活や社会の動きを見ながら、課題を見つけ、改善しようとしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント
	共に生き、共に支える	○私たちの生活と福祉 ・リスクに備える ○社会保障の考え方	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 プリント	プリント	プリント

後期	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○食品の選択と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ○調理の基礎 ○これからの食生活 調理実習 2～3回	a:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 b:栄養の機能と食品のかかわりにおいて、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりに向けての判断ができる。 c:自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査 実習 プリント	定期考査 実習 プリント	定期考査 実習 プリント
	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する ○これからの衣生活	a:材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得し、日常着の管理ができる。 衣服材料の性能と特徴、衣服整理ついての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 c:自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント

	住生活をつくる	○住生活の変遷と住居の機能 ○安全で快適な住生活の計画 ○これからの住生活	a:住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できる。 b:ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 c:住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント
	経済生活を営む	○情報の収集・比較と意思決定 ○購入・支払いのルールと方法 ○消費者の権利と責任 ○生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする ○これからの経済生活	a:短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係、消費者のしくみを理解しながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント

	持続可能な生活を営む	○持続可能な社会を目指して ・大量消費社会の限界	a:持続可能な消費について理解し、生活や環境との関わりについて、理解している。 b:持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて考えることができる。 c:持続可能なライフスタイルと環境について、どう行動したらよいか、振り返ったり改善したりして、実践しようとしている。	定期考査 プリント	定期考査 発表 プリント	プリント 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度